



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 川澄化学工業株式会社
 コード番号 7703 URL <http://www.kawasumi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 昌谷 良雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 請川 浩一 TEL 03-5769-2600
 四半期報告書提出予定日 2019年2月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	18,032	△6.3	453	△27.1	598	△19.7	228	△53.5
2018年3月期第3四半期	19,253	4.6	621	△22.5	744	△18.8	492	△49.7

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △478百万円 (ー%) 2018年3月期第3四半期 1,811百万円 (37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	10.79	—
2018年3月期第3四半期	22.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	43,753	37,734	86.1
2018年3月期	45,312	39,456	86.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 37,689百万円 2018年3月期 39,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2019年3月期	—	7.50	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△7.6	400	△41.8	500	△36.6	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	22,948,003株	2018年3月期	22,948,003株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,332,593株	2018年3月期	1,132,552株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	21,208,887株	2018年3月期3Q	21,815,566株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当社は2018年5月15日開催の取締役会において、中期経営計画を策定するとともに企業価値向上に向けた収益力の強化と体質改善を目的として、構造改革の実施を決定しました。

<構造改革の概要>

1. 体外循環事業の見直し

(1) 不採算事業からの撤退

今後収益の改善が見込めない国内生産ダイアライザーの生産・販売、および血液浄化製品の自社国内販売から撤退します。これにともない、国内外の生産組織を見直し、配置転換等を含み国内で60名、海外で160名規模の人員の適正化を実施し、2020年3月期までに生産拠点を再編します。

(2) 営業拠点の統廃合

国内営業拠点を東京・大阪・福岡の3拠点到集約し、配置転換等を含む40名規模の人員適正化を実施し、2019年3月期に拠点を整理・統合します。また、2018年12月末にて海外販売子会社である、ナムシントレーディング(タイ)の事業終了を予定しております。

2. 血管内分野の拡大と新分野への進出

(1) 新製品による新たな収益基盤の確立

成長領域である血管内分野、そして新たな領域である消化器分野、癒着防止材の研究開発に資源を投入し、より付加価値の高い事業の基盤を確立します。また、2021年3月期に新研究開発拠点(神奈川県キングスカイフロント)を設置し、医療現場との距離を縮めるとともに、国内外の営業・製造拠点とのネットワークを強化します。

(2) グローバル展開の加速

海外において新製品をタイムリーに上市するため、体制を強化します。ステントグラフトの欧州での販売を拡大し、米国にて上市している製品の販売も拡大します。

3. 生産性の向上

(1) 業務の効率化

生産管理センターを設置し、国内外の生産を一元管理することによって管理人員の削減および業務の効率化を図ります。RPA(ロボットによる業務の自動化)を活用し、生産性向上を図ります。本社人員においては、2019年3月期に配置転換等を含む30名規模の人員適正化により、効率的なオペレーションを実施します。

(2) 働き方改革

従業員がもっと柔軟に働き、ワークライフバランスがとれるよう人事制度設計を改定します。果敢に挑戦出来る次期リーダーの育成と、生き活きと働ける人事・処遇制度の改革をおこないます。

当第3四半期連結累計期間におきましては、不採算事業からの撤退を進め、営業拠点の統廃合(国内8拠点を東京・大阪・福岡の3拠点到集約)が完了するとともに、国内の希望退職者の募集が完了(募集人員130名程度、希望退職者数134名)しました。また、海外販売子会社であるナムシントレーディング(タイ)の事業を終了しました。これにより、割増退職金や営業拠点閉鎖に係る費用が発生し、今後使用が見込まれない固定資産に係る減損損失、棚卸資産廃棄損等も含めて、当第3四半期連結累計期間において構造改革費用として14億77百万円を特別損失に計上しております。

また、新分野への進出として、2018年9月19日付で厚生労働省より、「川澄ダックビル胆管ステント」の製造販売承認を取得し、販売を開始しました。

第4四半期以降も、不採算事業からの撤退や新製品による新たな収益基盤の確立等の中期経営計画における重点施策を推進し、企業価値向上に努めてまいります。

上記の構造改革の実施を含む、当第3四半期連結累計期間の経営成績については以下のとおりです。

<売上高>

売上高は、構造改革による撤退品(国内ダイアライザー、国内浄化自販製品<除く回路>、浄化装置等)や成分採血キット、生理食塩液等の販売が減少したことにより、前年同期に比べ12億20百万円減の180億32百万円(前年同期比6.3%減)となりました。国内・海外別の売上高につきましては、国内売上高は、前年同期に比べ14億13百万円減の120億5百万円(同10.6%減)、海外売上高は、前年同期に比べ1億92百万円増の60億27百万円(同3.3%増)となりました。

<売上総利益・営業利益・経常利益>

売上高の減少などにより、売上総利益は前年同期に比べ4億60百万円減の61億42百万円(同7.0%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、癒着防止材治験費用等の研究開発費が増加したものの、その他経費の削減などにより、前年同期に比べ2億92百万円減の56億89百万円(同4.9%減)、営業利益は、前年同期に比べ1億68百万円減の

4億53百万円(同27.1%減)となりました。経常利益は、前年同期に比べ1億46百万円減の5億98百万円(同19.7%減)となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益など12億99百万円の特別利益を計上しましたが、構造改革費用など14億85百万円の特別損失を計上したため、前年同期に比べ2億63百万円減の2億28百万円(同53.5%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①血液及び血管内関連

成分採血キット等の販売が減少したことにより、売上高は、前年同期に比べ2億55百万円減の83億37百万円(同3.0%減)となりました。セグメント利益は、前年同期に比べ1億95百万円減の2億95百万円(同39.9%減)となりました。

②体外循環関連

構造改革による撤退品(国内ダイアライザー、国内浄化自販製品<除く回路>、浄化装置等)や生理食塩液等の販売が減少したことにより、売上高は、前年同期に比べ9億65百万円減の96億94百万円(同9.1%減)となりました。セグメント利益は、前年同期に比べ27百万円増の1億57百万円(同21.1%増)となりました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億58百万円減の437億53百万円となりました。

流動資産は、主として現金及び預金の増加により10億95百万円増の298億70百万円となりました。

固定資産は、主として投資有価証券の減少により、26億53百万円減の138億83百万円となりました。

流動負債は、主として未払金の増加により、3億57百万円増の37億53百万円となりました。

固定負債は、主として繰延税金負債の減少により、1億93百万円減の22億65百万円となりました。

純資産は、主として自己株式の増加により、17億22百万円減の377億34百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は86.1%となり、前連結会計年度末と比べ、同率となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ21億84百万円増の180億16百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ7億26百万円減の11億37百万円となりました。主な内容は、減価償却費の12億12百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ26億71百万円増の16億17百万円となりました。主な内容は、投資有価証券の売却による収入の21億14百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ8億67百万円減の△12億51百万円となりました。主な内容は、自己株式の取得による支出の△8億60百万円であります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2018年10月10日発表	23,000	△300	△200	△500
2019年2月7日発表	23,500	400	500	0

本日、「2019年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表したとおり、最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想を修正しております。

売上高は概ね堅調に推移しておりますが、構造改革実施による減収影響が想定を下回ったこと等により、前回予想を上回る見込みであります。営業利益は、売上高の増加影響に加えて、2017年より開始した癒着防止材の治験において、症例獲得数が当期計画を下回ったこと等による研究開発費の計上時期ずれ、その他経費削減等により、前回予想を上回る見込みであります。

また、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても同様の理由により、前回予想を上回る見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,668	18,212
受取手形及び売掛金	6,830	6,460
商品及び製品	2,770	2,662
仕掛品	687	662
原材料及び貯蔵品	1,450	1,272
その他	370	601
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	28,775	29,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,846	4,495
機械装置及び運搬具(純額)	2,481	2,082
その他(純額)	2,772	2,868
有形固定資産合計	10,100	9,446
無形固定資産	532	310
投資その他の資産		
投資有価証券	5,546	3,603
その他	381	545
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	5,903	4,125
固定資産合計	16,536	13,883
資産合計	45,312	43,753
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,588	1,348
未払法人税等	238	44
引当金	301	19
その他	1,267	2,340
流動負債合計	3,395	3,753
固定負債		
退職給付に係る負債	1,878	1,846
その他	580	418
固定負債合計	2,459	2,265
負債合計	5,855	6,019

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,462	6,794
利益剰余金	25,291	25,202
自己株式	△1,056	△1,917
株主資本合計	37,339	36,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,688	937
為替換算調整勘定	62	130
退職給付に係る調整累計額	△70	△100
その他の包括利益累計額合計	1,680	966
非支配株主持分	436	45
純資産合計	39,456	37,734
負債純資産合計	45,312	43,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	19,253	18,032
売上原価	12,649	11,889
売上総利益	6,603	6,142
販売費及び一般管理費	5,981	5,689
営業利益	621	453
営業外収益		
受取利息	28	33
受取配当金	40	60
受取補償金	41	—
為替差益	—	13
作業くず売却収入	35	40
持分法による投資利益	7	6
その他	18	10
営業外収益合計	172	165
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	43	—
減価償却費	—	16
その他	4	2
営業外費用合計	48	19
経常利益	744	598
特別利益		
固定資産売却益	1	53
投資有価証券売却益	—	1,245
特別利益合計	1	1,299
特別損失		
固定資産除売却損	55	7
構造改革費用	—	1,477
特別損失合計	55	1,485
税金等調整前四半期純利益	690	412
法人税、住民税及び事業税	154	135
法人税等調整額	38	35
法人税等合計	193	170
四半期純利益	497	241
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	492	228

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	497	241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	679	△751
為替換算調整勘定	626	62
退職給付に係る調整額	8	△30
その他の包括利益合計	1,313	△719
四半期包括利益	1,811	△478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,789	△496
非支配株主に係る四半期包括利益	22	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	690	412
減価償却費	1,264	1,212
減損損失	—	219
有形固定資産除売却損益 (△は益)	54	△46
引当金の増減額 (△は減少)	△279	△282
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	99	△60
受取利息及び受取配当金	△69	△94
支払利息	1	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,245
持分法による投資損益 (△は益)	△7	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	△449	386
たな卸資産の増減額 (△は増加)	117	329
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14	△258
その他	211	761
小計	1,619	1,330
利息及び配当金の受取額	92	98
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	153	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,864	1,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△50
定期預金の払戻による収入	—	42
投資有価証券の取得による支出	△509	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,114
有形固定資産の取得による支出	△504	△501
有形固定資産の売却による収入	1	61
無形固定資産の取得による支出	△37	△57
その他	△3	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,054	1,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△860
配当金の支払額	△381	△317
非支配株主への配当金の支払額	△2	△1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0	△3
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△384	△1,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	226	47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	651	1,550
現金及び現金同等物の期首残高	15,180	16,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,831	18,016

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,200,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が860百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,917百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	血液及び血管 内関連	体外循環 関連	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高					
外部顧客への売上高	8,593	10,659	19,253	—	19,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,593	10,659	19,253	—	19,253
セグメント利益	491	130	621	—	621

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	血液及び血管 内関連	体外循環 関連	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高					
外部顧客への売上高	8,337	9,694	18,032	—	18,032
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,337	9,694	18,032	—	18,032
セグメント利益	295	157	453	—	453

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分していない全社資産において、219百万円の減損損失を計上しております。